

代表理事ご挨拶

「うみつなぎ」にかける想い

「うみつなぎ」は、海への躍動する想いを核に、海を楽しみながら、学び、共に行動し、状況を改善していく活動です。海には自然も文化の様々なつながり合いがあり、日々発見の楽しみに溢れています。しかし無限のように思えた海は、今、人間活動の激化や気候変動で環境が変わり、生態系が弱ってしまっています。海の自然を壊さずに活用する、地域の伝統的な知恵は、その多くが失われつつあります。それに世界が気づきはじめた今、人間社会の改善、自然の回復(ネイチャーポジティブ)に取り組みながら、海を元気にしていきたいと思えます。ユース世代はじめ多世代の方々と、海やお世話になった方々への恩返しと活動の発展を進めていきます。ぜひ一緒にしませんか。

清野 聡子(せいの・さとこ)

九州大学大学院工学研究院環境社会部門准教授。神奈川県逗子市出身。海岸散歩と貝拾いに3歳で目覚め、研究者の道を目指す。1989年東京大学農学部水産学科卒業。1991年同大学大学院農学系研究科水産学専攻修士課程修了。博士(工学)。東京大学大学院総合文化研究科助手、助教を経て2010年より九州大学大学院工学研究院准教授。専門は海岸・沿岸・流域環境保全学、生態工学。

公的組織委員会への参加:環境省(水環境、自然共生)、国土交通省(海岸環境、制度)、内閣府(海域環境)、福岡県(審議会:港湾・国土形成計画・土地利用)、長崎県(海洋ごみ、環境影響評価)、佐賀県(海洋プラスチック、廃棄物)、神奈川県(鎌倉市七里が浜侵食対策)、千葉県・茨城県(海岸保全基本計画)、宗像市(宗像国際環境会議)、福津市(環境)、対馬市(漂着ごみ協議会会長、海洋保護区、SDGs)、五島市(ジオパーク)、中津市(下水道)等。沿岸環境関連学会連絡協議会共同代表。2025年6月フランスでの国連海洋会議に日本の有識者として登壇。ユース育成活動を、地域、国内国連水会議、世界水フォーラム等で企画。

理事メンバー

竹村公太郎 副会長:NPO日本水フォーラム代表理事
元国土交通省河川局長

松尾潤二 副会長:(株)ナチュラルテック代表
元博報堂香港社長

永治克行 理事: NPO法人カメリア五島 代表
五島自然塾 代表

西 高一郎 理事: レジリア代表
イベントプロデューサー

事業目的

本法人は海洋と海岸の課題解決に寄与するため、

- 1 海と海岸について学び、海と海岸の課題に取り組む人材を継続的に育成する
- 2 海と海岸のデータを可視化して社会の関心を高め、政策提言を行い、政策の実現を目指す
- 3 海に関わる地域社会、産業を健全に維持発展させる
- 4 海と陸と川とのつながりに注目する

会員募集・ご協賛のお願い

「一般社団法人うみつなぎ」の活動を発展させていくためには、会員として活動への参加と、会の運営財源として会費および協賛を必要としています。本法人の趣旨・活動ご関心いただければ、会員としての参加、ご協賛のご検討をお願いいたします。会員メンバーには、一般社団法人うみつなぎとして集めた海洋と海岸のデータを優先的にご利用いただけます。

1. 正会員:うみつなぎ総会での議決権を持ち、活動に主体的に参加いただけます。
2. サポーター会員:(学生、ボランティアの方々に)総会での議決権はありませんが、活動に主体的に参加いただけます。
3. 賛助会員:うみつなぎの趣旨に賛同いただき、資金支援をいただける個人・企業・団体の方々には、賛助会員として支援をお願いいたします。

詳しくはホームページから、もしくは事務局にお問合せ下さい。

ホームページ
へのリンク



組織概要

名称:一般社団法人うみつなぎ
設立年月日:2025年11月18日
代表理事:清野聡子(九州大学大学院工学研究院准教授)
〒819-0395 福岡市西区元岡744
九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室
事務局:〒800-0031 福岡県北九州市門司区高田1-2-8-201
問合せ先:contact@umi-tsunagi.jp
送信の際は、@を@に変更してお送り下さい。



海でつながろう!

一般社団法人うみつなぎ 事業ご紹介



うみつなぎ
umi-tsunagi
Linking humans & marine nature

海洋と海岸の課題に取り組む 人材育成を進めます。

「一般社団法人うみつなぎ」発足の起点となった「九州大学うみつなぎ」では、若い世代が楽しく参加して、海辺の教室・うみまなび、シンポジウム、研究発表など海への関心を高め、海に関わる人材の育成活動に取り組んでまいりました。

一般社団法人うみつなぎでは、深刻化している「海洋と海岸の課題」の解決を進めるためには、より幅広い世代を巻き込んで、広く社会に海洋と海岸の課題を知ってもらう活動とより組織的に継続的な人材育成活動が必要だと考えています。



漂着物を区分けするビーチコーミングは子供たちが、海辺を楽しく学ぶ場です。



うみつなぎ主催 2025年7月21日
海の日記念シンポジウム
～玄界灘の魅力と課題を語る～

第七管区海上保安本部、
アクロス五島、宗像鐘崎漁師、
唐津虹ノ松原KANNE、古賀市長、
九州大学maiPLAなど様々な玄界灘に
関わる立場で語っていただきました。

活動方針

- ・身近な海洋と海岸の課題を知ってもらうためのシンポジウムやイベントを開催し、九州大学うみつなぎの研究発表シンポジウムを共催します。
- ・海洋と海岸の課題解決に関心のある人材を、若年時代から学生、社会人まで継続的に育成し、日本の海洋と海岸に関わる研究や政策を担う人材を生み出す活動を広げていきます。

海洋と海岸のデータ構築で 課題を可視化、政策提言へ。

一般社団法人うみつなぎは、大学研究者の基盤を踏まえて、各地域の個人・団体のパートナーの協力の下に、海洋と海岸の様々なデータを科学的に集積し、分かり易い形で可視化してメディア（マス及びSNS）を通じて社会に情報発信し、行政に政策提言を行い、海洋と海岸の課題解決につながるよう社会の関心を高め、政策の実現を目指します。

海岸浸食・砂浜喪失は深刻さを増しています！

鎌倉七里ヶ浜の海岸浸食は、
道路陥没の危険性もあり
深刻な問題となっています。

全国どこでも海沿いの道路、
住宅、施設は同様の問題を
抱えています。一般社会
では海岸浸食の深刻さが
理解されていません。



福岡県糸島市サーフィンの
メッカ幣の浜でも海岸浸食
は深刻です。
地元サーファーにも参加
いただき、多くの参加者に
砂浜が失われてきている
現状を知っていただきました。
2025年11月30日
一般社団法人うみつなぎ
幣の浜エクスカーション

一般社団法人うみつなぎは、日本各地の海岸浸食・砂浜喪失の状況を把握するため、全国のパートナーに呼びかけて、各地の砂浜の過去と現在の画像比較、および砂浜が削られていく状況の定点観測を進めて行きます。
全国各地でのデータを集め、分かり易い形で可視化することで、海岸浸食と砂浜喪失の深刻な状況が広く認知されるはず。更に政策提言を行い、政策の実現を目指します。

海に関わる地域社会と産業の 健全な維持発展に貢献します。

日本全体として少子高齢化による人口減少が続いていますが、都市部に人口が集中する一方で、収入を得る産業が限られる離島や漁業など海に関わる地域では人口減少が顕著であり、地域社会の維持が大変重要な課題となっています。



長崎県対馬市は神話にも出てくる
高品質の真珠の産地で、対馬の
重要な産業となっています。
近年、世界的に真珠の需要が高
まり、価格は上がっていますが、
海水温の上昇など海洋環境の変
化で生産量は減ってきています。

福岡県宗像市鐘崎では、
様々な効能で注目されている
海藻アカモク漁の事業化に
成功しています。



長崎県五島では、遣唐使が椿油を
貢物とした歴史があり、五島の名産物
である椿を様々な商品・サービス
展開と地域のブランド化に活用して
います。

海に関わる地域で稼げる雇用のもととなる産業を維持発展していかなければなりません。
特に九州の離島は、国境の最前線でもあり、「大切な日本の資産として人の住む島」を維持していく必要があります。
一般社団法人うみつなぎは、九州の離島や海に深く関わっている地域と連携して、それぞれの地域が持つ歴史、文化、産業、食を改めて掘り起こし、地域社会が維持発展できるような取組みを進めてまいります。